X-Umbrella-OrgIDを使用したUmbrella APIによる子組織の管理

内	容
---	---

はじめに

このドキュメントでは、親組織がX-Umbrella-OrgIDヘッダーを使用してUmbrella APIで子組織を管理する方法について説明します。

概要

親組織は、次の2つの方法でUmbrella APIで子組織を管理できます。

- 各子組織の代わりにAPIキーを作成し、それらのキーをAPI要求に使用する (Ulorprogrammableで)。
- 単一の親組織のAPIキーを使用して、各子組織に代わって<u>直接API要求</u>を行う。

たとえば、セントラルオフィス(親組織)は、すべてのブランチオフィス(子組織)からのイベントデータを含むグローバルセキュリティレポートを生成できます。これは、ブランチごとにAPI要求を発行し、イベント情報を組み合せることによって実現します。

子組織に代わってAPI要求を行う

子組織に対してAPI要求を作成する手順は、次のとおりです。

- 1. セントラルオフィスの管理者が親組織にAPIキーを作成します。
- 2. API要求を行う場合は、x-Umbrella-OrgIDヘッダーに子組織のOrgIDを追加します。
- 3. 親組織のAPIキーからのアクセストークンを使用して、要求を認証します。

例·

複数のブランチの複合セキュリティイベントレポートを生成するために、セントラルオフィスでは、各要求の正しいx-Umbrella-OrgIDヘッダーを使用して、各ブランチオフィスに対してAPIコールを発信します。

	Sp. Ap.
Parent	200
raitill	

Child1

- Get an access token for Child1: -H 'X-Umbrella-OrgID: Child1OrgID'
- -H 'X-Umbrella-OrgID: Child1OrgID'
 2. Make an API request on behalf of Child1

Child2

1. Get an access token for Child2:

-H 'X-Umbrella-OrgID: Child2OrgID'

2. Make an API request on behalf of Child2

Child3

1. Get an access token for Child3:

-H 'X-Umbrella-OrgID: Child3OrgID'

2. Make an API request on behalf of Child3

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照することを推奨します。